

もっと!

Motto! JA Hiroshima

JAひろしま

2023

6

No.003

特集
西日本豪雨から5年
今伝えたい協同の力とJAの取り組み

CONTENTS もくじ

- 2 **特集** 西日本豪雨から5年
- 6 輝く農業人
- 8 今月の産直市
- 9 今月のおすすめレシピ
- 10 JAひろしまトピックス
- 12 イチオシ!トピックス
Oh! 農 Our High School
- 13 インフォメーション
- 14 健康ひろば
- 15 クロスワード・お便り紹介



浸水した産直市と農機センター(東広島市高屋町)



支店に流れ込んだ木や土砂(江田島市江田島町)



水路が崩壊した小水力発電施設(庄原市西城町)



倒壊した共同利用施設や農業倉庫(三原市大和町)



浸水したATM(三原市下北方)



支店に堆積した土砂(安芸郡坂町)

JA管内の爪痕

JAグループの調べでは、管内の水稻や園芸、柑橘などで約1,000haの農地が被災し、農産物の被害総額は10億円以上でした。農業施設や農業機械などの被害も確認されました。



農産物への被害を最小限にとどめようと、営農指導員や職員が農家を巡回して被害状況を確認し、管理や防除対策などを伝えました。

1 営農指導員や職員による圃場の巡回強化

■JAの対応

2 JA職員やJAグループ広島支援隊を派遣

西日本豪雨とは…
平成30年6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心に全国的に広い範囲で、台風7号や梅雨前線などの影響で大雨や集中豪雨が発生しました。この大雨は、西日本を中心に甚大な被害を与えました。
広島県内では、7月6日の昼過ぎから7日の朝にかけて大雨となり、初めて大雨特別警報が発表され、総雨量500㎜以上を記録した地域もありました。この時、22の市町に大雨特別警報が発表されました。河川の氾濫や浸水害、土砂災害などが多発し、上水道や通信などライフラインの被害、死者や行方不明者の人的被害、住宅全壊や浸水などの住宅被害が発生しました。



今伝えたい協同の力とJAの取り組み

西日本豪雨から5年

特集

甚大な被害をもたらした西日本豪雨(平成30年7月豪雨)から5年。JA管内でも、土砂が田畑を覆い、農地の水路が絶たれ、農業施設や家の倒壊などの多くの被害が発生しました。西日本豪雨発生時のJAの対応やその後の防災への取り組みなどを紹介します。
近年は地球温暖化の影響などで、大雨や大雪などによる自然災害が多発しています。災害はいつ起こるかわかりません。災害への備えはできていますか。

被災した農地や施設の早期復旧に向け、JA職員、連合会などの職員で構成するJAグループ広島支援隊を派遣しました。圃場や水路などに流れこんだ土砂、水田に埋まった防護柵などを撤去しました。



◆災害

締結先	協定名称
広島県	災害時における物資の保管等に関する協定 災害時における石油類燃料の確保及び徒歩帰宅者支援等に関する協定
海田町	浸水時緊急避難施設(津波・浸水避難ビル)としての使用に関する協定
江田島市	災害時の応急対策に関する協定
東広島市	災害時における施設利用及び備蓄物資の保管・整備に関する協定
三原市消防本部	災害発生等における避難施設としての利用に関する協定書
安芸高田市	災害時における施設提供に関する協定
北広島町	災害時における避難所等の施設利用に関する協定
三次市	浸水時緊急退避施設としての使用に関する協定
庄原市	災害時における避難場所の協力に関する協定 災害時における「物資の保管」「物資の供給」「避難所施設利用」に関する協定

◇見守り

締結先	協定名称
廿日市市	地域見守り活動に関する協定
大竹市	地域見守り活動に関する協定 大竹市高齢者等地域見守り活動に関する協定
熊野町	熊野町高齢者等地域見守り活動事業に関する協定
海田警察署	地域の安全・安心を守る活動に関する覚書
呉市	高齢者等見守り活動に関する協定(呉市高齢者等見守りネットワーク)
東広島市、市社協、 市民生委員児童委員協議会	地域見守り活動に関する協定
三原市	三原市における地域見守り活動に関する協定
竹原市	竹原市との地域見守り活動に関する協定
北広島町	北広島町地域見守り事業に関する協定
三次市	三次市における高齢者等見守り活動に関する協定

※協定の内容により業務が異なります

防災教室の開催
市町の防災指導員や担当者などを講師に防災について学ぶ教室や研修会などを開いています。西日本豪雨や過去に起きた災害の被害状況を当時の写真などで振り返りながら、ハザードマップを活用し、危険区域や避難場所などを確認し、防災意識を高めています。

J Aは、災害などの緊急事態が発生したとき、事業の継続や復旧を図るため事業継続計画(B C P)を策定しています。



保存食や発電機などの備え
災害による上水道などのライフラインや道路の寸断などに備え、発電機、水や食料などを備蓄しています。災害発生時には、市町などに迅速に寄付することができます。

※備蓄状況や内容は地域本部により異なります。

■J Aの防災・減災への取り組み等 行政との協定

地震や風水害などの災害発生時、または災害等が発生するおそれがある場合は、J Aが所有する施設を住民の避難所及び緊急時の物資等の集積場所の提供、物資の供給や可能な範囲での応急対策業務を行なう協定を県や市町と締結しています。

青壮年連盟は、被害を受けた部員の農地の復旧作業に協力しました。地区代表が、部員の被害状況を確認し、土砂崩れでハウス内に流れ込んだ流木や土砂などを、人力作業で撤去し、一輪車で運び出しました。作業には、同連盟の他、J Aグループ広島の他連盟からも参加、組織が一丸となって作業を進めました。

女性部は災害翌日から、被災者へ飲料水や支援物資の配達などのボランティア活動をしました。J Aの調理場を借りて、被害が大きく、水や電気が使えない地域へ炊き出しをしました。また、J Aグループに義援金や物資の協力を呼びかけました。



3 J A組織が支援

J A支店を地域住民の避難所として開放しました。また、被災者が自宅を片付ける際には子どもを預ける無料託児所として会場を提供しました。託児所では保育士や看護師資格を持つ有志を中心に地域ボランティアが子どもを見守り、夏休みには小学生も来て映画上映や学習会が開かれました。



4 J A施設を避難所として開放



※移動金融車とは：通常金融店舗のない地域を定期的に巡回しています。

金融店舗が被災して業務の継続が困難な支店に、J Aの移動金融店舗『ふれあい号』を派遣しました。『ふれあい号』は大規模災害等が発生した場合には、広島県信用農業協同組合連合会の要請で派遣される移動金融車です。

5 移動金融店舗『ふれあい号』の派遣

6 「西日本豪雨災害」に関する緊急要望書の提出

各市町に管内農畜産物の被害状況を報告し、農地の復旧や生産者の負担軽減に向けて要望書を手渡しました。要望書には、農地復旧に係る財源の確保、国や県への支援対応、J Aと農業・農地などの被害状況の共有などを盛り込みました。

7 農薬・肥料の特別価格対応

被害を受けた水稲や野菜の病害虫の発生を抑制するために、一部の農薬・肥料の価格を引き下げました。特別価格で供給し、農家の負担軽減に取り組みました。

8 住宅などの被害調査

J A職員や連合会・系統会社を中心に、組合員や建物、生活インフラなどの被害状況を確認しました。J A共済の建物更生共済の加入物件で、被害が確認された建物の共済金支払を迅速に進めました。また、既契約及び継続契約の共済掛金の払込の猶予などを行いました。さらに、ガス事業においては、ガスの供給設備が被災していないか、確認しました。

J Aとの災害時支援協定

西日本豪雨の経験を期に、「中央サミット」を組織するJ Aと災害発生時に職員派遣などで迅速に支援できる相互扶助の体制を整えています。

「中央サミット」とは：J A名に「中央」と付く中国四国地方のJ Aが県域を越えた事業連携で農業振興や地域活性化に取り組みます。鳥取県鳥取中央、愛媛県のかみめ中央、山口県の旧山口中央、現J A山口県とJ Aひろしま(旧：佐伯中央、広島中央)で構成します。



第2回

江田島市江田島町
「江田島きゅうり」

こまつ しんや
小松 真也さん(43歳)

ほっとTime

・お笑い番組を見る・ゲーム

ぐっとWord

・努力
農業は手を掛けた分だけ、自分や農作物に返ってくる。自然相手で大変だが、諦めずにコツコツと作業する。



キュウリを栽培するハウス



父親の政司さん(左)から経営を継承

江田島市江田島町の小松真也さん(43)は、特産「江田島きゅうり」の栽培で、育苗と土作りにこだわり、春と秋の2作で、1株当たり平均12.7kgと地域の平均を上回る出荷量を実現しています。温度や水管理を徹底し、最盛期を避けて出荷する半促進・抑制栽培を確立。摘果や追肥も工夫し、長期良品出荷につなげています。



大須集出荷場に出荷された「江田島きゅうり」

キュウリの栽培は1980年代に両親が始めました。物心ついた時から農業が身近にあった真也さんは、2002年に22歳で就農。家族や江田島野菜出荷組合胡瓜部会の研修で技術と知識を身に付けました。2011年に父の政司さん(76)から経営を継承しました。ハウス18棟、約34aで栽培し、春作は4〜7月、秋作は10〜1月に出荷します。



作業性や風通し考慮した畝幅

良質なキュウリ生産のため苗作りから手掛けます。苗床に穂木と台木を播種し、接ぎ木した苗は9cmポットに鉢上げして養生期から、温度管理や水管理を徹底。温度に気を配り、トンネル被覆と温床線で苗床の温度を保ちます。

育苗では、ポットの田当たりや土壌状態を小まめに観察し、水分量を見極めて徒長に気を付けます。本葉3枚、草丈約10cmの茎が太い苗に育てて植えます。

安定生産と肥料コスト削減に毎年、ハウスごとに土壌診断を実施します。良質な牛糞堆肥を10a当たり900kgとケイ酸などで土壌を改良。年2回の土壌消毒で、ネグサレセンチュウやネコブセンチュウなどの病害を抑え、シルバーマルチで虫を防ぎます。

作業性やハウス内の風通しを考慮し、畝幅110cm、株間1mで栽培。5節までの側枝を除去して、8節までを摘果。子づるや孫づるは2節摘心を心掛け、病気を抑制します。

温度管理は、ビニールの二重被覆を基本に、作型でトンネルや寒冷しゃなどを使います。追肥は溶液土耕で9節開花期から与え、樹勢を見極めて液肥希釈倍率、窒素濃度などを調整します。

品質と収量にこだわられる小松さんは「手間を惜しまなければ、良いキュウリができる。家族で力を合わせて消費者に喜ばれる「江田島きゅうり」を作り続けたい」と力を込めます。

消費者に喜ばれる
「江田島きゅうり」を
作り続けたい

江田島市江田島町



江田島きゅうりって？

広島県内1位の生産量を誇り、鮮度保持袋で鮮度を保ち市場出荷します。きゅうり特有の青臭さも少なく、歯ごたえとみずみずしさが特徴です。

お立ち寄りスポット!

今月の産直市周辺のおすすめスポットをご紹介します。



こしばじま
小芝島 産直市から車で約10分

潮が引いた時に向かいの大芝島から見ると、ハート形に見えると口コミで知られるようになった無人島です。大芝島の上から眺めていると、潮が引いて周囲を縁取るような砂浜が現れ、こんもり緑に覆われた島がハート形に。青い海に映えるハート形の島がとてもキュートです。東広島市唯一の国立公園に指定されています。

- 東広島市安芸津町風早
- お問い合わせ TEL.0846-45-4141(安芸津町観光協会)

ハチマキ展望台 産直市から車で約35分

さざなみスカイライン沿いにある展望台です。野呂山中腹にあり、安芸灘大橋や美しい瀬戸内海の多島美が堪能できる人気の展望台です。ベンチが備え付けられているため、絶景を眺めながら心地良い時間を過ごせます。暖かい時期のドライブにも最適です。



- 呉市川尻町板休
- お問い合わせ TEL.0823-70-5338(野呂山ビジターセンター)

JAひろしま
今月の産直市

東広島市安芸津町風早647-8
【お問い合わせ】TEL.0846-46-1166 【営業時間】9:00~18:00 【定休日】1/1~1/4

ふれあい市 安芸津店



地域の台所!

2022年12月1日にリニューアルオープンした「ふれあい市 安芸津店」。店内には、地域で栽培された新鮮な農産物のほか、お弁当やお好み焼き、冷凍食品なども並んでいます。リニューアルに合わせ、町内を巡回する公共交通「海風バス」の停留所を、店舗前に設置しました。スーパー代わりに毎日通える産直市として、地域住民から親しまれています。

絶景を楽しめる!

瀬戸内海沿いにある安芸津店は絶景が望めると地元で評判で、開店前の朝6時から綺麗な海を眺めようと多くのお客さまが訪れます。店内には、瀬戸内海を望むイートインスペースを設置、屋外のテラスにもベンチやテーブルがあります。



今月の
おすすめレシピ

レンジでかんたん。じゃがバター



じゃがいものホクホク食感を活かした一品。小腹がすいたときにぴったりなお手軽メニューです。

- 材料(2人分)**
- じゃがいも 中(100~120g程度) 2個
 - バター..... 20g
 - (お好みで、醤油、塩、胡椒、チーズを加えてください。)
- その他用意する物**
キッチンラップ

- 作り方**
- 1 じゃがいもをきれいに洗い、縦横に切り込みを入れます。
 - 2 じゃがいもはぬれたままラップで密封し、レンジで加熱します。(じゃがいもが2個の場合の目安: 5分 600W)
※多少の水気を残してください。
 - 3 つまようじを刺し、硬ければ再度、レンジで加熱します。(じゃがいもが2個の場合の目安: 1分 600W)
 - 4 じゃがいもの切れ目に、お好みのトッピングをのせて完成です。



安芸津店 高本 浩二 店長

新玉ねぎ

温暖な気候の安芸津町・安浦町・川尻町で栽培された新玉ねぎを販売しています。みずみずしく、甘みが強く、綺麗な丸い形が特徴です。7月まで出荷しています。ぜひ、おすすめの新玉ねぎを食べてみてください。



おすすめの一品!!



フレスタ農業体験 佐伯長ナス産地で



スーパーマーケットのフレスタなど、商品加工や販売の担当者ら4人が4月27日、廿日市市の佐伯長ナス生産者部会の圃場で「佐伯長ナス」の植え付けを体験しました。「佐伯長ナス」を使った総菜を開発し販売するスーパーは、生産者とのつながりを深め、地産地消を一層進めます。

同スーパーは、「佐伯長ナス」を使用した総菜を2019年から販売。今年は、生産者からおすめの食べ方を聞き取って、天ぷらやパスタ、グラタンなどの新商品を開発しました。「佐伯長ナス」の使用量を昨年の約2倍に増やし、新商品を含む7品を1カ月ごとにメニューを変えて販売します。

出荷最盛の7～10月、広島を中心に岡山、山口3県の63店舗全店で取り扱う予定です。



▲担当者に苗の植え付け方を教える阿部部会長(右)

販売高1億円を達成 ハウス野菜グループ



J A広島北部地域本部野菜生産部会ハウス野菜グループが令和4年度の販売高1億7,000万円を達成しました。チンゲンサイ生産者の栽培技術が全体的に安定したことや、ハウレンソウの栽培面積の増加から、昨年度を2,300万円上回りました。

主に大朝地区でハウレンソウの栽培面積が増加。また、ハウス野菜グループで販売高の6割を占めるチンゲンサイは、平成29年頃から面積や生産者が徐々に増えています。

岡田耕治グループ長は「自然環境の変化や資材の高騰など厳しい状況が続くなかで明るい材料となった。産地として認めてもらえるよう今年度も取り組みたい」と話しました。



▲生産経費の高騰分を販売価格に転嫁できるよう販売先への理解も求めています

白ネギ産地化へ向け農業塾を開講



J Aは三原市高坂町で4月13日、「白ねぎ農業塾」を開校し、白ネギの生産販売を目指す農家7人が受講しました。農業塾では白ネギの特性や生育条件、栽培管理などについての講習と、チェーンポット用簡易移植機「ひっぱりくん」を使った定植の実習を行ないました。

三原地域本部では、令和元年度より白ネギを振興品目に位置付け、生産者数、生産面積ともに拡大を目指し農業塾を開校しています。また、昨年より小袋包装での試験販売を始めるなど、販売力強化を進めています。

白ネギ栽培の面積拡大を目指す中、改めて栽培の基本を学びたいと参加した辻速人さん(74)は、「水分や防除などの管理を徹底し良質な理想の白ネギを作りたい」と話しました。



▲「ひっぱりくん」の使い方を学ぶ参加者たち

JA広島営農指導活動成果発表大会 最優秀賞を受賞



J A広島営農・生活指導担当者協議会営農部会が開いた2022年度県J A営農指導活動成果発表大会で、広島中央地域本部営農販売課の橋本孟治係長が南部地区代表として出場し、最優秀賞に輝きました。

橋本係長は露地夏秋ナスと秋冬白ネギの生産拡大を進める中で、バラ出荷契約や袋

詰め的外部委託で収穫から調整までの作業労力削減を実現したことなどを報告。家族農業経営者の省力化や農閑期の対策が高く評価されました。

次回は岡山県で開かれる2023年度中国地区J A営農指導員交流集会上に県代表として出場します。



▲最優秀賞に輝いた橋本係長

湯崎県知事を表敬訪問



▲意見を交換しました

J Aの三戸正宏組合長と佐伯隆弘専務は4月27日に広島県庁を訪れ、湯崎英彦知事にJ Aひろしまの設立を報告するとともに、当組合の農業振興に係る取り組みについて意見交換を行ないました。

J Aから、酒造好適米について謝辞を述べた後、「レモンをはじめ、かんきつ産地は県の支援も得て大きく成長しています。広域化などの合併J Aの特徴を活かした産地づくりや農産物販売を進めていきたいと思います」と湯崎知事に説明しました。

湯崎知事は「レモンに続く特産品を育て、大いに販売して農業振興を充実していただきたい」と意見を述べられ、J Aひろしまの取り組みに期待感を示されました。

カーネーション 出荷最盛



J A呉地域本部管内の江田島市能美町鹿川地区でカーネーションの鉢植えを栽培する田中農園では、5月初旬に出荷最盛期を迎えました。

「母の日」に合わせ、施肥やかん水などの管理を徹底し出荷調整作業を行なう中、特にハウス内の温度には細心の注意を払います。

田中農園は江田島市沖美町や能美町でトルコギキョウを中心にランタンキュラスや小菊など約10種の花弁を栽培。カーネーションは9月末から約7カ月かけて1,200鉢を育てます。



▲出荷を前に花付き具合を確認する田中さん(右)

カーネーションの鉢植えは主に広島市の市場に出荷。J A全農ひろしまのとれたて元気市にも出荷しています。

果樹産地 再構築を



県内の果樹生産者で構成する広島県果樹研究同志会は4月25日、三原市で「第70回広島県果樹研究同志会大会」を開きました。「構造改革で未来に続く産地への再構築を図ろう」をテーマに、生産者とJ A、行政関係者ら500人が参加。県産地の更なる活性化へ意識を合わせました。

大会では、異常気象による災害の頻発や、生産物流コスト上昇など果樹農業を取り巻く厳しい環境を確認。産地の構造改革を進めることや生産出荷体制の強化、担い手の育成強化などを申し合わせました。

同会の根角正則会長は「高齢化や担い手不足により栽培面積・生産量ともに減少傾向にある。産地を維持できるように構造改革を進め、生産者一丸となって未来に続く産地づくりに取り組む」と力強く語りました。



▲「頑張ろう」のかけ声を上げる生産者ら

実践的な授業で農業を支える一員に



広島県立農業技術大学校は4月12日、2023年度入学式を開きました。野菜・花きコース、落葉果樹コース、肉用牛コースに県内外から25人が入学。2年間、先端技術を取り入れた実践的な授業で、専門的な技術と知識を学び、農業・地域社会の中核的な担い手を目指します。

家族や在校生ら約100人が参加。新入生代表は「デジタル化やスマート農業の導入が進んでいる。日本農業を支える一員になる覚悟で取り組む」と誓いました。



▲誓いの言葉を述べる新入生代表

通帳のみでのATMご出金 取扱停止のお知らせ

JAバンク広島ではセキュリティ強化の取り組みとして、**令和5年7月22日(土)**より通帳のみでのATMご出金の取扱いを停止させていただきます。

このため令和5年7月22日(土)以降はATMでのご出金の際にキャッシュカードが必要となります。

利用者みなさまには大変ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

ご不明な点は、各支店にお問い合わせください。

農家のみなさまへ 中古農機モデルフェア開催

中古農機モデルフェアを次の日程にて開催します。点検整備済み中古農業機械を適正価格でみなさまへお届けしますので、ぜひご来場ください。

開催日時
令和5年7月8日(土)8:00~15:00

場 所
JA全農ひろしま ひろしま営農技術センター
東広島市河内町入野11631-13

詳しくは、各地域本部 農業機械部門へお問い合わせください。

JAひろしまでは、農作業事故撲滅運動を実施しております。
「あせる心が事故を招く!!余裕を持って農作業を!!」

農産物検査にかかる検査手数料について(ご案内)

当組合では農産物検査業務における検査手数料につきまして、右の表のとおり整理させていただいておりますので、ご確認いただくとともに、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

ご不明な点は、お近くのアグリセンター、または地域本部営農販売課へお問い合わせください。

※kg当り単価を用いて検査手数料額を算出する場合、1円未満の端数は切り捨てとなります。

※請求書記載時、種類・銘柄等ごとに算出した額が1円未満の端数は切り捨てた額を記載します。

種類	量目	単位	金額(税抜)	
			検査手数料額	検査手数料額
もみ	20kg以下のもの	1包装につき	50円	
	上記以外のもの	20kg当り	50円	
玄米	30kg以下のもの	1包装につき	50円	
	上記以外のもの	30kg当り	50円	
大麦	25kg以下のもの	1包装につき	50円	
	上記以外のもの	25kg当り	50円	
小麦・裸麦	30kg以下のもの	1包装につき	50円	
	上記以外のもの	30kg当り	50円	
大豆	30kg以下のもの	1包装につき	50円	
	上記以外のもの	30kg当り	50円	
そば	22.5kg以下のもの	1包装につき	50円	
	上記以外のもの	1t当り	2,222円	

理事会報告

令和5年度 第3回 開催日時: 4月28日14:00から

付議事項

- 第1号議案 一組合員に対する信用の供与等の最高限度額等について 【承認】
- 第2号議案 組合員以外の者1人に対する信用の供与等の最高限度額等について 【承認】
- 第3号議案 同一人(当該同一人と特殊の関係にある者を含む。)に対する信用の供与等の最高限度額等について 【承認】
- 第4号議案 令和5年度借入金最高限度額について 【承認】

- 第5号議案 余裕金運用規程の一部改正について 【承認】
- 第6号議案 令和5年度 内部監査計画について 【承認】
- 第7号議案 理事報酬の支給方法等について 【承認】
- 第8号議案 委員会の設置について 【継続審議】

報告事項

- 1 合併処理に伴う、JASTEMシステムにおける定期性貯金商品情報の切替エラーについて
- 2 令和5年度事業計画について

組合員資格の変更等について 相続の発生や、転居等により組合員資格に変更があった場合は、JAへの届出をお願いいたします。

イチオシ ピックアップ

JAは、「持続可能な農業の実現」「豊かで暮らしやすい地域の社会の実現」「JA組織の基盤強化」に向けて、取り組みを進めています。このコーナーでは、JAが実践している事業や取り組みから「イチオシ」を紹介いたします。

冷凍生ぎょうざ産直市で販売 合併効果で食材幅広く

JAは4月8日、形や重さが規格に合わず市場に出荷できない規格外農産物を使った冷凍生ぎょうざの販売を始めました。ぎょうざの皮などを製造・販売する、広島市の井辻食産と協力して開発。ブランド商品として売り出し、食材を変えたシリーズ化を視野に管内農産物のPRと生産者の所得向上につなげます。

第1弾となる「春ぎょうざ」は、アスパラガスと白ネギを使った「芽吹」と、レモンと小松菜を使った「萌黄」。「芽吹」はアスパラガスのしっかりとした歯ごたえとスパイシーな香り、「萌黄」は小松菜のシャキシャキ感にあっさりとしたレモンの酸味が特徴です。



JAが販売する規格外農産物を使った冷凍生ぎょうざ

幅広い農産物が食材として使えるようになり、多くの世代に親しみのあるぎょうざに着目。原料の農産物の味を引き出せるよう、食感や味などを変えて試食を重ねました。

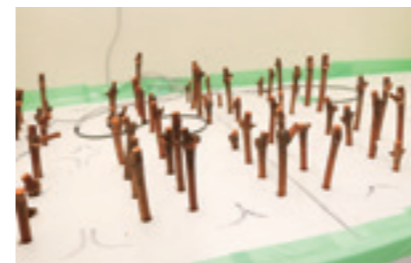
「春ぎょうざ」はJA産直市の「となりの農家高屋店」となりの農家黒瀬店「ふれあい市安芸津店」「JA産直ふれあい市場三原店」「やっさふれあい市場本郷店」で先行販売。今後は、JA産直市の取り扱い店舗を増やし、第2弾となる「夏ぎょうざ」の準備を進めます。

Oh! 農 High School

ブドウ苗木作りに挑戦

庄原実業高校の生物生産学科は4月14日、生食用ブドウの苗木作りの研究を始めました。露地栽培の「巨峰」とハウス栽培の「ピオーネ」の剪定枝を活用。挿し木に適した環境を調べ、短期間で良質な苗木の生産技術の確立を目指します。

研究は、県立広島大学生物資源科学部の藤田景子准教授と共同で行ないます。1月に採取した剪定枝を乾燥防止のためビニールで包み、約4℃で保管しました。剪定



枝は2芽、15~20cmを目安に切り、挿し穂先端の乾燥を防ぐ薬剤を塗り、番号を付けて枝の太さや長さを記録。「巨峰」と「ピオーネ」各32本をロックウールに挿し、コンテナで発根促進剤施用区と対象区に分けて、一定温度で管理して比較します。

生育環境を測定しながら不定根を約4週間育て、根の成長や生育ステージまでの日数などを調べます。

日本学校農業クラブ連盟に加入する、西条農業高校、吉田高校、庄原実業高校では、将来プロフェッショナルとして活躍する人材育成を目指し、特色ある高校として専門教育に力を入れています。農業に関わる幅広い産業に対する知識や技術の習得に努めている高校の特色ある取り組みについて紹介します。

クロスワードパズル

(出題/ニコリ)

二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?



※答えは7月号に掲載します。



5月号の答え
「アマリリス」

今月のプレゼント

正解者の中から抽選で10名様に瀬戸田町産 柑橘加工品セットをプレゼント!!



おもしろクイズ

- ① 1年で一番昼が長い日
- ② 徳川家康が晩年を過ごした一城
- ③ 不動産会社が売買するものの1つ
- ⑤ 『落穂拾い』や『晩鐘』を描いた画家
- ⑥ 奈良や鎌倉のものが有名
- ⑧ テッセンとも呼ばれるキンポウゲ科の花
- ⑪ 相撲取りが踏みます
- ⑫ 抑揚のないせりふ回しは
- ⑬ トウモロコシやゴーヤーが多く出回る季節
- ⑮ 弁当箱にご飯と一緒に詰めます
- ⑯ ーコート、ーブーツ
- ⑰ 円周率を表す文字
- ⑳ ネタとシャリで作ります

おもしろクイズ

- ① 招く側がホストなら、招かれる側は
- ④ タマネギを切ると出ること
- ⑦ 建てたばかりの建物のこと
- ⑨ 数字のゼロを日本語でいうと
- ⑩ サープ→→→トス→アタック
- ⑬ 「海鼠」と書く生き物
- ⑭ 置き時計はクロック、腕時計は
- ⑰ 仕事や用事がない空き時間のこと
- ⑱ コショウ、ナツメグ、シナモンなど
- ⑳ プールの授業のときに着ます
- ㉑ 領収書に収入ーを貼った

応募方法

はがきまたはインターネットより、パズルの答え、住所、氏名、年齢、電話番号と写真やイラスト、身近で起きた出来事などを添えてご応募ください。

応募締切

7月5日(水)

※当日消印有効

〒739-0015 東広島市西条栄町10-35
JAひろしま 総務部広報課「クロスワードパズル」係
https://jahiroshima.or.jp/8-contact
JAひろしまホームページのお問い合わせページよりご応募ください。



※投稿に際して取得した個人情報は承諾なく第三者に提供しません。※投稿は紙面の都合上、すべて掲載できません。ご了承ください。※プレゼントの当選者発表は発送をもってかえさせていただきます。



みなさまからの お便り紹介

テーマ「梅雨」

◆雨の日の美術館が好きです。しっとりしていいですよ。私はひろしま美術館や県立美術館によく行きます。雨音が聞こえる館内での美術館鑑賞、心地よいです。
(廿日市市 むーピーさん)

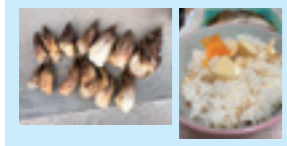
●雨音をBGMに、ゆっくりと作品に浸れそうですよね
(大竹市 Y・Kさん)

◆庭の雨にぬれたあじさいの花をみながら真っ黄色のコートと赤の花柄の力サをさして出かけます。トルンロンです。
●目に映るものが華やかだと気分もあがりますよね
●雨の日を楽しむための策ですね
(広島市 S・Eさん)

◆JAひろしまのデジタルスタンプラリーに参加し、毎週火曜日開催の海田のひまわり産直市で高菜、ラディッシュ、水菜を購入、野菜がどれも新鮮とてもいい思い出になりました、ありがとうございます。(広島市 S・Eさん)
●ご参加ありがとうございました！今後も各産直市では新鮮な農畜産物を取り揃えていきます。お待ちしておりますね
(府中市 H・Sさん)

◆4カ月の娘が寝返りをしました！
●娘さんの成長が見逃せませんね。頑張っている姿が目につかびます
(安芸高田市 M・Nさん)

◆箱掘りに行って、小さいながらも沢山収穫できました。
●タケノコが沢山、タケノコご飯、美味しいですよ
(安芸高田市 M・Nさん)



今回のテーマ 「夏休み」

※「クロスワードパズル」の答えと一緒に投稿いただいても構いません。応募先は上記の「クロスワードパズル」の応募方法をご参照ください。ペンネームでの投稿もできます。

甚大な被害をもたらした西日本豪雨から5年が経ちました。近年は、異常気象による自然災害が全国各地で頻繁に発生しています。日頃から風水害や地震など災害への対応を考え、備えておくことが必要です。豪雨から5年が経過しましたが、復旧中の農地や農業施設もあります。1日も早い復興を願うばかりです。(しきもと)

健康ひろば

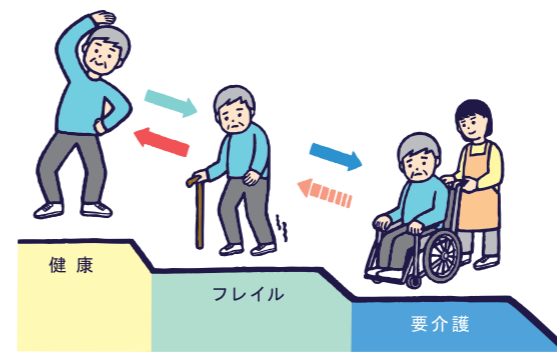
あなたはフレイルではありませんか？ 一寝たきりの原因とその対策について

JA 吉田総合病院
病院長 杉山 英二

超高齢化時代を迎えて、みなさんの関心事は「要介護・寝たきり」ではないでしょうか？
寝たきり、要介護状態の原因は、戦後長らく脳血管障害でしたが、最近では減少し、認知症がトップになりました。2019年の厚生労働省の調査では、要介護状態の原因は認知症(18%)、脳血管障害(16%)、高齢による衰弱(13%)、骨折・転倒(13%)、関節疾患(11%)と続きます。

脳血管障害は突然要介護状態になりますが、その他の多くの原因はフレイルという中間的段階を経て、徐々に要介護状態に陥ると考えられています。

フレイルとは「加齢に伴い、心身が衰えた状態」と定義されます。英語の[Frailty]が語源になっており、「衰弱」、「老衰」、「脆弱」を意味します。加齢は戻すことはできませんが、フレイルは早く介入して対策をしますと、元の健康な状態に戻ることができる状態であり、最近老年医学領域で大変注目されています。



フレイルの基準は①体重減少(年間4.5kgまたは5%以上の体重減少)、②疲れやすい:何をするのも面倒だと週に3~4日以上感じる、③歩行速度の低下、④握力の低下、⑤身体活動量の低下の5項目のうち、3項目を満たすとフレイルと診断されます。日常生活では、横断歩道を渡るのに難渋する、ペットボトルが開けにくい、疲れた顔をしている、家の中にいて身体を動かさない、痩せてきたなどに注意が必要です。

フレイルは身体的な面(低栄養、筋力低下、嚥下・摂食機能低下、内臓合併症)、社会的な面(閉じこもり、社会交流の減少)、精神的な面(認知機能の低下、抑うつ、意欲・判断の低下)が複合的に絡まって引き起こされます。そこで、その対応として、①バランスの良い食事、適切なエネルギー量を1日3回に分けて摂ること、②適度な運動を行ない、筋力を維持すること、③感染症予防(手洗、マスク、ワクチン接種など)、④持病のコントロール(定期的な受診、健康診断など)⑤地域の社会的活動の参加などが望まれています。適切な運動や栄養管理は個人によって異なりますので、気軽に当院にご相談ください。

- JA 尾道総合病院
尾道市平原一丁目10-23
TEL.0848-22-8111
- JA 吉田総合病院
安芸高田市吉田町吉田3666
TEL.0826-42-0636
- JA 広島総合病院
廿日市市地御前一丁目3-3
TEL.0829-36-3111





～大地の恵み～

「ジャガイモ (バレイショ)」

別名で「バレイショ」とも呼ばれるジャガイモは、管内の南部地域を中心に栽培されています。ホクホクとした食感やねっとりとした食感などたくさんの種類があり、料理によって使い分けることで一層うま味が引き立ちます。ぜひ食べてみてください。

